

「白(常)諸君は、委任状の山による アリバイ的な自治委員会をやめよ！

反戦平和生活擁護の
自治会運動の活性化
に向けた

12月12日開催

自治委員会はじめ、自治会運動の活性化をめざしてこの
年次総会。2年連続で開催されるこの国民生活擁護会議に、これまで
軍拠を押し進める政府の委員会を撲滅しなさい。一ヶ月した
間して議論したが、せめて戦争と生活擁護を取り
くらむ立派の議論が回わたしてみる。私達は、12・12代
議員集会中に、かゝわらずこの運動を展開せしめて
たが、既に終戦したのに、22討論集会を開催してくる。
さてに際して、この議論開幕による「自治委員会」に対する
され見解を述べた。

總括を以て、クラスからの取扱いをめぐらし、具体的な運動
方針の立せぬ、(自衛)民衆開拓者は、自治委員会の 委
任状の立て方アリバイについて述べよう。

（1）「田添委員会」に向けた議論書は、10月田添委員会、以降 消え去
ることなく續けて口へかかれていく。これは確かに「12・12代議員
集会」に「無事」としての戦運動に選ばれたものだが、秋期（夏）
に「學生生活委員会」一般の運動に流し込んだ。この代議員集会以
後、代大等の方針提起をして本筋に自治会運動として展開するものとは程遠い。
したるものであり、本当に自治会運動として展開するものとは程遠い。
議論書の二〇一カンは自治会運動として展開するものとは程遠い。
やしくも自治委員会に向けて議論書がある以上、各クラスとの討論
会などを駆けめぐらすに「田添委員会」への討論のされ、決定する自治会運動方
針であるはずだ。眞面目にいければならない。しかし初期の議論はさ
あ、クラスとの議論書討議だけにして、議論書の内容に促して自治会運
動が展開されない現状と、恒例の委任状の立てる想起があるなり。とく
に今後の「田添委員会」の活動が以後の自治会運動を發展させるための
は受け取れない。むろん、民衆開拓者の具体作のアリバイ的なもの
アリバイ的を自治委員会に腰を立てるだり、ヤル氣をなくしてしま
うの議論書は、反戦平和・生活擁護の自治会運動を活性化せらるだ
12月12日開催に参加しよう。

どうか「田添委員会」に腰を立てるとしてこの田添委員会議論。
「田添委員会」をやめようとしての議論感じながら、まあ委任状だけ
で十分といつていいんだから、しかし結果的には委任状の出でこと
が重要な点に注目を許す。自治委員会の議論を導きこねます
多くの田添委員会、委任がヤル氣をなくするのだ。委任がやめられ
い。そして現在の 教育部自治運動会の議論に対するものがあ
活性化せさせたいとした理由から、ぜひ12月12日開催に参加しよう
と生ぜる。